

文部科学省委託事業

平成22年度「生涯学習施策に関する調査研究」

公民館の活用方策に関する調査研究

報 告 書

“2010 Research on Lifelong Learning Policy”

Research Project on Effective Use of Kominkan commissioned by MEXT

Final Report

財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)
Asia-Pacific Cultural Centre for UNESCO (ACCU)

文部科学省委託事業

平成22年度「生涯学習施策に関する調査研究」
公民館の活用方策に関する調査研究
報告書

2011年3月10日

発行

財団法人ユネスコ・アジア文化センター

〒162-8484

東京都新宿区袋町6番地 日本出版会館内

電話 (03)3269-4435

Email education@accu.or.jp

URL <http://www.accu.or.jp>

印刷 チョダクレス株式会社

©ユネスコ・アジア文化センター 2011

©Asia-Pacific Cultural Centre for UNESCO 2011

はじめに

ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)は、1971年に官民の協力により設立された外務省及び文部科学省の共管の財団法人です。ACCUは、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)から「アジア太平洋地域における文化の相互交流を促進する中核的センター」の設置を打診されたことを契機に、1971年に日本政府と出版界を中心とした民間の協力によって設立されました。以来40年、ユネスコのうたう「平和は、人類の英知と精神的な連帯のうえに築かれるものである」という精神のもと、日本を拠点にアジア太平洋地域で人物交流、教育協力、文化遺産保護協力の3分野で事業を展開しています。ユネスコとの強い協力関係のもと、教育の分野では、特に成人識字教育支援をはじめとするノンフォーマル教育の振興のための事業に力を入れてきました。

アジア諸国においてノンフォーマル教育の重要な拠点として根づき、現在目覚ましい発展を遂げているコミュニティー学習センター(CLC:Community Learning Centre)と、日本において戦後の生活改良運動を始めとして人々の活動を支えてきた公民館は、地域の智恵の拠点として多くの共通点があります。2003年にACCUとユネスコが中心となり双方の交流を開始してから、公民館は発展途上にあるアジア諸国のCLCから学びの対象として大きな関心を集めてきました。

上記のような背景の下、このたび文部科学省の委託により「平成22年度『生涯学習施策に関する調査研究』公民館の活用方策に関する調査研究」を実施することになりました。本調査は、同じく同省の委託事業としてACCUが実施した「平成20年度『公民館の国際発信に関する調査研究』海外のコミュニティー学習センターの動向にかかる総合調査研究」の成果を基に、それらを発展させるものです。

本報告書が今後の公民館とアジア諸国のCLCの更なる発展と交流を促進させることを願っています。

末筆ながら、ご多忙の中調査研究委員会やシンポジウムへのご出席、国内外の現地調査および原稿執筆にとどまらず、アジア諸国のCLC関係者の方々とのネットワーク構築にご尽力くださった委員の方々、調査協力者の方々、ならびに調査にご協力いただいた公民館、CLCの関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。

2011年3月

財団法人ユネスコ・アジア文化センター

目次

調査研究の目的と概要	4	
調査研究委員会委員リスト	7	
第1章		
アジア諸国のCLC活動と日本の公民館活動		
インドネシアにおけるCLCの分析-日本への示唆と展望-	笹井 宏益	11
韓国生涯学習(平生学習)調査報告	手打 明敏	19
	山本 秀樹	
中国の社区教育施設	末本 誠	32
公民館の学習成果の積極的活用を図る神戸市の公民館	村上 英己	42
群馬県高崎市における公民館活動について	川上 千春	49
松江市公民館の特徴と注目点	末本 誠	55
「学校・家庭・地域の連携を目指す公民館活動」-松山市久米公民館-	高橋 興	64
-日本の公民館とアジア諸国のコミュニティー学習センター(CLC)との連携の可能性-「ユネスコ世界寺子屋運動」の経験から	川上 千春	71
第2章		
国際シンポジウム:公民館とアジアのCLCの協力		
シンポジウム概要		77
シンポジウム参加者リスト		78
発表資料		80
ラウンドテーブル議事録		136
千葉県君津市における公民館視察報告		151
第3章		
総括及び提言		
総括	神代 浩	155
提言		162
参考資料		
アジア諸国のCLCに関するアンケート		175

Table of Contents

Objectives and Outline of Research	4
List of Committee Members	7
Chapter 1:		
Current Situation of CLCs in Asia and Kominkan in Japan		
Analysis of CLCs in Indonesia - Suggestions and Prospects for Japan	SASAI Hiromi 11
Republic of Korea Lifelong Learning Survey Report -	TEUCHI Akitoshi 19
	YAMAMOTO Hideki	
China's Community Learning Centres	SUEMOTO Makoto 32
Kominkan in Kobe City - Aiming to Make a Positive Use of Kominkan	MURAKAMI Hideki 42
Learning Outcomes		
Kominkan Activities in Takasaki City, Gunma Prefecture	KAWAKAMI Chiharu 49
Characteristic Feature and Noteworthy Points of Matsue City	SUEMOTO Makoto 55
Kominkan		
“Kominkan Activities aiming for Partnership between Schools,	TAKAHASHI Ko 64
Households, and Local Communities”-Matsuyama City Kume		
Kominkan -		
-Possibilities for Partnerships between Kominkan in Japan and	KAWAKAMI Chiharu 71
Community Learning Centres (CLCs) in Asian Countries-Based on the		
Experience of the “UNESCO World Terakoya Movement”		
Chapter 2:		
International Symposium on Kominkan and CLC Cooperation in Asia		
Outline of Symposium	 77
List of Participants	 78
Presentations	 80
Round Table	 136
Study Visit for Kominkan in Kimitsu City, Chiba prefecture	 151
Chapter 3:		
Generalization and Recommendations		
Generalization	KAMIYO Hiroshi 155
Recommendations	 162
Annex		
Questionnaire on CLCs in Asia	 175

調査研究の目的と概要

戦後の生活改善運動の経験から現在における地域活性化及びコミュニティ活動の拠点としての様々な実践に至るまで、地域社会で幅広い役割を果たしてきた日本の公民館は、アジア諸国のCLC(Community Learning Centre)の発展に活用できる豊富な経験と実践を蓄積している。同時に、アジア諸国において広く普及しているCLCにおいても、多くの重要な政策や成功事例が蓄積され始めている。

こうした状況の下、公民館/CLCの更なる活性化に向け、従来の支援や交流の実績を活かしつつ、日本とアジア諸国との間における相互交流と情報交換、国際的なネットワーキングの強化が期待されている。東アジア地域統合の文脈においても、公民館/CLCをめぐる各国間の政府・民間レベルにおいて技術協力及び相互交流を促進することは、草の根の相互理解とネットワーク構築の促進に役割を果たすことから、大きな意義を有していると言えるだろう。

上記を背景に、本調査研究「平成22年度『生涯学習施策に関する調査研究』公民館の活用方策に関する調査研究」は、アジア諸国のCLCが日本に求める支援及び相互交流の分野、性質、ニーズ、形態を明らかにすることを目的に定め、以下の概要で実施した。

(1) 調査研究委員会の設置及び公民館/CLCの背景調査

公民館及びアジア諸国のCLCに関し、専門的知見を有する委員により構成される調査研究委員会を設置した。同委員会の構成員は、インドネシア、韓国、カンボジア、タイ、中国、ベトナム、ラオスを始めアジア諸国の各地域に対する知見を有し、且つノンフォーマル教育、地域コミュニティ及び貧困削減等の幅広い学術分野に識見を有する。これら委員による調査研究委員会を計2回開催し、知見の交換と論点の整理、議論の深化を図った。

(2) アジア 7 ヶ国(インドネシア、韓国、カンボジア、タイ、中国、ベトナム、ラオス)のCLCの専門家招聘を通じた公民館視察とシンポジウムの実施

アジア 7 カ国(インドネシア、韓国、カンボジア、タイ、中国、ベトナム、ラオス)からノンフォーマル教育の専門家及びCLCの関係者 13 名(オブザーバー2 名を含む)を招聘し、「国際シンポジウム: 公民館とアジアのCLCの協力」を開催した。多様な教育の状況及び特色あるCLCと関わる各参加者の発表と広範な議論により個別/共通の事例や課題、展望について情報共有を図るとともに、日本の公民館に求められるニーズや役割を明確にした。同時に、アジア諸国におけるCLCの活動報告や実践例の知識を得ることにより、日本の公民館活動を活性化させていく示唆を得た。また、シンポジウムの場を通じて被招聘者と公民館関係者とのネットワーク構築を図るとともに、被招聘者から自国のCLCに関する発表資料及びアンケート調査の回答を得ることで、関係者間の共有が可能に

なった。

更に、被招聘者は千葉県君津市において活発な活動を展開している公民館を視察し、併せて行政関係者、運営関係者、講師、学習者等と意見交換を行った。これにより被招聘者は公民館の体制、活動について知識を共有し、また受入れ側である公民館の関係者も含め、双方ともに各々の国情や背景の相違点と共通点を前提としながら、今後の活動改善についての示唆を得た。

(3) 日本の公民館(愛媛県、群馬県、島根県、兵庫県)に対する現地調査

調査研究委員 5 名による日本国内 4 箇所(愛媛県松山市、群馬県高崎市、島根県松江市、兵庫県神戸市)の公民館に対する現地調査を実施した。これらの公民館における活動事例や運営体制、課題等を含む現状を把握するとともに、アジア諸国のCLCの支援に適用可能な分野、また望ましい交流形態を明らかにした。また、調査実施者から日本の公民館がアジアのCLC関係者から学びの対象とされている現状を関係者と共有することにより、より広範且つ国際的な視点から公民館活動を捉えなおす視点を提供した。

(4) アジア 3 ヶ国(インドネシア、韓国、中国)のCLCに対する現地調査

調査研究委員 7 名によるアジア 3 カ国(インドネシア、韓国、中国)のCLCに対する現地調査を実施した。これら 3 カ国のCLCの活動事例や運営体制、関連法令等を含む現状を把握するとともに、日本に求められる支援や交流の形態を明らかにした。また、活発な活動が実施されている各国の背景と各CLCの成功事例に対して調査分析を行うことにより、日本の公民館活動の活性化への示唆を得た。

(5) 報告書の作成と配布を通じた成果の普及

調査研究委員会の開催を通じ、上述した一連の活動による成果を共有、総括するとともに、国内外の現地調査による研究成果や国際シンポジウムにおける議論の内容、提言等を含む全ての調査研究成果をまとめた本報告書を、日本の公民館関係者とアジアを中心とするCLC関係者へ配布した。これにより一連の調査研究成果を各国で共有すると同時に、日本がアジア諸国の公民館/CLCのネットワーク構築及び相互交流において積極的な役割を果たしていく意思を有することを提示した。

実施期間:2010年9月13日～2011年3月10日

実施団体:財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)

Survey Research - Objectives and Outline

Japan's Kominkan have been playing a diverse role in local communities, starting with the experience gained in the movement to improve living conditions in the post-war period, up to the efforts of today, such as the revitalization of local communities and the various measures that have community activities as their base. Through these efforts, Kominkan have accumulated a wealth of experience and knowledge of practical measures that can be utilized in the development of CLCs (Community Learning Centres) in countries throughout Asia. At the same time, CLCs are becoming increasingly widespread in Asian countries and they too have started to accumulate a database of important policies and successful case studies.

In this environment and for the further utilization of Kominkan and CLCs, it is hoped that there will be increases in mutual exchanges and information sharing between Japan and Asian countries and a strengthening of an international network, while continuing to use the results acquired from the kinds of support and exchanges carried out in the past. In the context of the regional integration of East Asia and for the promotion of technical cooperation and mutual exchanges at both public and private sector levels between each country, it can be said that Kominkan and CLCs are extremely significant as they have a role to play in promoting mutual understanding at a grass roots level and in constructing networks.

Against this backdrop, this survey research, entitled “2010 Research on Lifelong Learning Policy”- Research Project on Effective Use of Kominkan commissioned by MEXT, aims to clarify the qualities, needs, and forms of support and mutual exchanges that CLCs in Asian countries require from Japan; it was carried out in accordance with the executive summary described below.

- (1) Establish a survey research committee and carry out a background survey of Kominkan and CLCs
- (2) Conduct visits to Kominkan and hold a symposium by inviting CLC experts from seven Asian countries (Cambodia, China, Indonesia, Lao PDR, Thailand, Republic of Korea, Viet Nam)
- (3) Carry out on-site surveys at Japan's Kominkan (Ehime Prefecture, Gunma Prefecture, Shimane Prefecture, and Hyogo Prefecture)
- (4) Carry out on-site surveys in three Asian countries (Indonesia, Republic of Korea, and China)
- (5) Disseminate the results through preparing and distributing reports

Implementation period: September 13, 2010, to March 10, 2011

Implementing organization: Asia - Pacific Cultural Centre for UNESCO (ACCU)

調査研究委員 Research Committee Members

神代 浩 国立教育政策研究所 教育課程研究センター長	Mr. KAMIYO Hiroshi Director, Curriculum Research Center, National Institute for Educational Policy Research (NIER)
川上 千春 日本ユネスコ協会連盟 教育文化事業 部長	Ms. KAWAKAMI Chiharu Director, Education and Culture Department, National Federation of UNESCO Associations in Japan (NFUAJ)
萱島 信子 国際協力機構(JICA)人間開発部 部長	Ms. KAYSHIMA Nobuko Director General, Human Development Department, Japan International Cooperation Agency (JICA)
笹井 宏益 *座長 国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部 総括研究官	Mr. SASAI Hiromi *Chairman Senior Researcher, Department of Lifelong Learning Policy, National Institute for Educational Policy Research (NIER)
末本 誠 神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教授	Mr. SUEMOTO Makoto Professor, Graduate School of Human Development and Environment, Kobe University
角南 篤 政策研究大学院大学 准教授	Mr. SUNAMI Atsushi Associate Professor, National Graduate Institute for Policy Studies
高橋 興 青森中央学院大学 経営法学部 教授	Mr. TAKAHASHI Ko Professor, Department of Management and Law, Aomori Chuo Gakuin University
手打 明敏 筑波大学 人間総合科学研究科 教授	Mr. TEUCHI Akitoshi Professor, Institute of Education, University of Tsukuba
村上 英己 全国公民館連合会 事務局次長	Mr. Murakami Hideki Deputy Secretary General, National Kominkan Association
山本 秀樹 岡山大学大学院環境学研究科 准教授	Mr. YAMAMOTO Hideki Associate Professor, Graduate School of Environmental Science, Okayama University,
協力者 Collaborators	
大安 喜一 ユネスコ・ダッカ事務所 プログラム・コーディネーター	Mr. OYASU Kiichi Program Coordinator, UNESCO Dhaka Office
増田 知子 インドネシア教育省初等中等教育管理総局 アドバイザー	Ms. MASUDA Tomoko Advisor, Directorate General for Basic Education, Ministry of National Education of Indonesia
事務局 Secretariats	
島津 正数 ユネスコ・アジア文化センター 事務局長	Mr. Masakazu Shimazu Secretary-General, Asia-Pacific Cultural Centre for UNESCO (ACCU)
柴尾 智子 ユネスコ・アジア文化センター 事業部 次長	Ms. SHIBAO Tomoko Deputy Director, Programme Department, Asia-Pacific Cultural Centre for UNESCO (ACCU)
小荒井 理恵 ユネスコ・アジア文化センター 事業部 プログラムスペシャリスト	Ms. KOARAI Rie Programme Specialist, Programme Department, Asia-Pacific Cultural Centre for UNESCO (ACCU)
清水 みゆき ユネスコ・アジア文化センター 事業部 プログラムオフィサー	Ms. SHIMIZU Miyuki Programme Officer, Programme Department, Asia-Pacific Cultural Centre for UNESCO (ACCU)